

<p style="font-size: 2em; margin: 0;">日 本 史</p> <p style="font-size: 1.5em; margin: 0;">(問 題)</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">2020年度</p>
--

〈R02143319〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

日本古代の摂関政治といえば、藤原道長とその子の頼通の時代が最盛期とされる。藤原北家の中でも摂関家はどのようにしてその権力を確立したのだろうか。

奈良時代には、藤原仲麻呂^aや道鏡が天皇の決定を左右するほどの権力を握ることもあって、政治に混乱が生じた。この危機に対応して、桓武天皇^bのもとで天皇への権力の集中を目指した改革が行われる。9世紀初め、律令による太政官中心の政治のあり方は、令外官^cを設置して天皇と政務との関係を深めることにより修正された。そして858年、1天皇がわずか9歳で即位した背景には、天皇の地位の安定があったといえる。この幼帝の外戚として藤原良房が摂政となり、その養子基経が2天皇の関白となって権力を握った背景には、天皇との緊密な関係があった。

醍醐・村上天皇の時代を経て、冷泉天皇即位の2年後に起きた安和の変^d以後、摂関政治が本格的に行われるようになった。10世紀後半からほぼ1世紀の間、時の天皇の外戚が幼少の天皇の摂政となり、天皇が成人すると関白となって実権を掌握することが通例となった。その後の藤原北家内部の権力闘争を抜け出し、外戚の地位を確固たるものにしたのが、道長・頼通父子であった。

また、この時代は受領による地方政治の時代^fでもあった。道長はその受領の経済力を利用し、また摂関家以外の公卿にも礎石を曳くなどの負担を押し付けて、3を造営した。このようにして、他の公卿たちから隔離した摂関家の高い地位が確立し、外戚であるかどうかを問わず摂関になる家格として位置づけられたのである。

問1 下線部 a に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 藤原武智麻呂の子であり、藤原不比等の孫にあたる。
- イ 孝謙天皇の時代に、光明皇太后と結んで勢力を伸ばした。
- ウ 橘諸兄の子、奈良麻呂が計画した政変を未然に防ぎ、滅ぼした。
- エ 淳仁天皇を擁立して即位させ、恵美押勝の名を賜った。
- オ 称徳天皇から破格の経済的特権を与えられ、大師（太政大臣）にのぼった。

問2 下線部 b に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 母親が藤原氏の出身であったため、その強い後ろ盾を背景に権力を確立した。
- イ 天武天皇の血を引く新しい皇統の新しい王権として、強力な天皇を目指した。
- ウ 中国の皇帝にならって天の祭祀を試みるなど、天皇権威の強化をはかった。
- エ 平城京から平安京へ遷都したが、責任者が暗殺され一時中断を余儀なくされた。
- オ 征夷大將軍坂上田村麻呂を東北地方に派遣し、蝦夷の族長伊治咩麻呂を降伏させた。

問3 下線部 c ではない官職はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 中納言 イ 内大臣 ウ 勘解由使 エ 檢非違使 オ 藏人頭

問4 空欄 1・2 に該当する語の組み合わせとして正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 1 陽成・2 淳和 イ 1 陽成・2 文徳 ウ 1 陽成・2 光孝
エ 1 清和・2 淳和 オ 1 清和・2 文徳 カ 1 清和・2 光孝

問5 下線部 d の事件で藤原氏によって排斥された人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 橘広相 イ 橘逸勢 ウ 源高明 エ 伴善男 オ 菅原道真

問6 下線部 e に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 藤原道長は、甥の藤原伊周と関白・内覧の地位をめぐる激しく争った。
- イ 藤原道長は、娘4人を皇后や皇太子妃として、3代の天皇の外戚として権力を振るった。
- ウ 藤原道長が摂政となったのは一時期だけで、内覧の地位にあつて太政官を統括した。
- エ 藤原頼通は、三条天皇の摂政となつて以降、3代50年間にわたり摂政・関白をつとめた。
- オ 藤原頼通の娘には皇子が生まれず、摂関家を外戚としない後三条天皇が即位することになった。

問7 下線部 f に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 受領になったのは、主に公卿や殿上人といった上級貴族であつた。
- イ 受領は自らの収入を貪欲に追求するとともに、国の徴税を請け負つて国家財政を支えた。
- ウ 「尾張国郡司百姓等解」では、地方政治に貢献した藤原元命の善政が讃えられている。
- エ 『今昔物語集』には、自らの郎党を率いて地方を支配した信濃守藤原陳忠の非法が述べられている。
- オ 受領は、田堵に班田収授を実施させて、租や調・庸の取り立てを強化した。

問8 空欄 3 に該当する語として正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 平等院 イ 蓮華王院 ウ 法勝寺 エ 法界寺 オ 法成寺

II 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

室町幕府は、南北朝内乱の過程で観応の擾乱によって分裂の危機に瀕したが、それを乗り越え、南北朝も合体すると、ようやく安定期を迎えた。

幕府の中央機構としては、将軍を補佐する管領、京都の警備・刑事裁判などを担当する侍所、一般政務・幕府財政などを担当する政所、訴訟を担当する引付などがあった。

だが、幕府の安定は長くは続かなかった。将軍暗殺で幕府が揺らぐと、その隙を衝くように徳政一揆が起きた。これは将軍 **1** の代始めの徳政を求めたものと考えられ、幕府は徳政令を出さざるをえなかった。この後もしばしば起きた徳政一揆に悩まされた幕府は、分一銭という対策を生み出した。

室町幕府の経済政策としては、撰銭令もあげておかなければならない。総じて室町幕府は経済的な問題と密接に関わっていた、あるいは関わらざるをえなかった政権といえよう。

15世紀後半、応仁の乱の勃発によって、幕府の勢威は衰退に向かった。地域権力の自律が進んでいき、幕府の膝下である山城においても国一揆が発生し、**2** 氏の軍を国外に退去させるありさまだった。

ただ、それでも幕府はその後数十年にわたって命脈を保つ。支配領域は畿内近国に限られ、権力闘争は激化していくが、とにもかくにも16世紀半ば過ぎまで幕府が存続したことは、それ自体興味深い問題といえよう。

問1 下線部 a に関連する事柄の説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 足利尊氏は南朝と和睦することがあった。
- イ 足利直義は南朝と和睦することがあった。
- ウ 高師直は足利直義と対立した。
- エ 足利直義は兄尊氏の政務独占に不満を持って対立に至った。
- オ 足利直義は旧来の秩序を重視していた。

問2 下線部 b の長官（所司）に任命される家柄である四職でなかった氏族はどれか、2つ選べ。

- ア 京極 イ 赤松 ウ 伊達 エ 山名 オ 島津 カ 一色

問3 下線部 c に関連する事柄の説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 将軍の直轄領である御料所は管領の管理に委ねられた。
- イ 交通の要地に関所を置いて関銭や段銭を徴収した。
- ウ 政所の長官は公方御倉と呼ばれた。
- エ 土倉役・酒屋役の徴収は納銭方が請け負った。
- オ 京都五山の僧侶は課税を免れた。

問4 空欄 1 に該当する人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、カをマークせよ。

- ア 義持 イ 義政 ウ 義勝 エ 義教 オ 義量

問5 下線部 d についての説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 幕府が取り次いで債務者から債権者へ払い、返済を猶予した。
- イ 幕府が取り次いで債権者から債務者へ払い、徳政一揆の襲撃を免れた。
- ウ 幕府は債務者と債権者との間でこれを受け渡すことを禁じた。
- エ 幕府はこれに関わる分一徳政令をしばしば発令した。
- オ 幕府がこれに関わる分一徳政令を初めて出したのは、正長徳政一揆の時だった。

問6 下線部 e に関する説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 私鑄銭の横行が前提にあった。
- イ 永楽通宝などの宋銭需要増大が前提にあった。
- ウ 取引の時に良質な銭が好まれ、円滑な流通に支障が生じたことが前提にあった。
- エ 良質な銭と悪銭との混入比率を定めたりした。
- オ 戦国大名も発令した。

問7 空欄 2 に該当する名字はどれか、1つ選べ。

- ア 畠山 イ 細川 ウ 斯波 エ 六角 オ 大内

問8 下線部 f に関連する事柄Ⅰ～Ⅲを古い順から並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 明応の政変が起きた。
 - Ⅱ 三好氏の権力が松永久秀にとってかわられた。
 - Ⅲ 細川晴元が京都をおさえた。
- ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

Ⅲ 次の文章および史料A・B・Cを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

史料A・B・Cは、6代将軍徳川家宣および7代将軍家継に仕えた儒学者が記した 1 の一節である。

史料A 同九日、ロウマ人の来由を問うべき由仰せかうぶる。此事の詳なる事は、別に録せしものあれば、こゝにはしるさず。

史料B これは、両国の好修められし初よりして、彼国の書には、日本 2 としるしまゐらす。これは鎌倉京の代々より、外国の人は、我国天子の御事をば、日本天皇と申し、武家の御事をば、日本 2 と申せし例によれる也。しかるを、寛永の比に至て、日本 3 としるしまゐらすべき由を仰つかはされしより、此事そのちの例とはなりたり。されど、3 といふは、彼国にして、その臣子に授くる所の職号にこそあれ。(中略) また、3 は、天子の異称なる由、異朝の書にはみえたり。(中略) たゞもとのごとくに日本 2 としるしまゐらすべき事を申すべき由、対馬守に仰下されぬ。

史料C 其大要は、「当家代をしるしめされて、海舶互市の事始しより、此かた、凡百余年の間、我国之宝貨、外国に流れ入りし所、すでに大半を失ひぬ。これより後、百年を^{つゞ}けず、我国の財用ことごとく^{つゞ}竭なむ事は、智者を待ずして、其事明かなり。」

問1 空欄1に該当する書名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 折たく柴の記 イ 古史通 ウ 六論衍義大意 エ 大学或門 オ 聖教要録

問2 下線部aに該当する人名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア ウィリアム・アダムス イ ケンベル ウ シドッチ
エ ドン・ロドリゴ オ ヤン・ヨーステン

問3 下線部bに該当する書名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 日本誌 イ 華夷通商考 ウ 唐船風説書 エ 北槎聞略 オ 日本幽囚記

問4 空欄2・3に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 2 国王・3 大君 イ 2 大君・3 国王 ウ 2 将軍・3 大君
エ 2 国王・3 将軍 オ 2 大君・3 将軍 カ 2 将軍・3 国王

問5 史料Bに関連する説明として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

ア 変更された国書の宛て名は、8代将軍吉宗のときに元にもどされた。
イ 初期の朝鮮使節は、文禄・慶長の役の朝鮮人捕虜返還のための回答兼副還使であった。
ウ 朝鮮使節として多くの人々が来日し、日本と朝鮮の文化交流をもたらした。
エ 18世紀になると、朝鮮使節は修好を目的として通信使と呼ばれるようになった。
オ 幕府は文禄・慶長の役の講和を実現し、朝鮮との間に己酉約条を結んだ。
カ 対馬藩は、釜山の倭館において朝鮮との貿易を独占することを認められた。

問6 下線部cに関連して、日本の代表的な輸入品として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 俵物 イ 生糸 ウ 銀 エ 銅 オ 刀剣

問7 史料Cに記された事態の対策として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 京都・堺・長崎の特定の商人に生糸を一括購入する権限を与えた。
- イ 中国船を除く外国船の寄港地を平戸と長崎に制限した。
- ウ オランダ船・清船の入船数、貿易額を制限した。
- エ 長崎の出島のオランダ商館長にオランダ風説書を提出させた。
- オ 長崎の清国人の居住を制限するために、唐人屋敷を設けた。

問8 6代将軍徳川家宣および7代将軍家継の時代の政策として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 服忌令が出され、死や血のケガレの観念が広がっていく契機となった。
- イ 湯島聖堂を建て、林鳳岡（信篤）を大学頭に任じて、儒教を重視した。
- ウ 富士山噴火の被災地の復興のために諸国高役金（国役）の徴収を命じた。
- エ 金銀貨の金銀の含有率を改鋳前にもどして、物価の騰貴を抑えようとした。
- オ 将軍家継と皇女の婚約をまとめるなど、天皇家との関係を強めた。
- カ 大嘗祭などの朝廷儀式の復興を認めるとともに、禁裏御料を増やした。

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

個人の資質や仕事の成果にかかわらず、各国における先住民などのマイノリティや女性の、組織内での昇進や社会活動を妨げる、見えないが打ち破ることもできない障壁をさす「ガラスの天井」や、男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会をめざす「男女共同参画」ということばを見かける機会が多くなった。ソーシャルネットワーキングサービスに見られる「#MeToo」「#KuToo」も、現代に女性への性差別・性被害があることを表面化しようとするキーワードである。今年で設立からちょうど100年という区切りで見れば、日本において女性の政治的活動参加への権利獲得をめざした団体が初めて設立されたのもその年であった。1世紀を経てもなお「女性の解放」への運動は続いているともいえる。

岩倉遣外使節団に随行し、そのまま欧米に残った人物のうち、津田梅子・山川捨松らの例は、近代日本の女性史の中でも最も早い時期の女性の活躍としてあげることができよう。また、1872（明治5）年から17編シリーズで刊行されベストセラーとなった、福沢諭吉の著『学問のすゝめ』8編において、近世の社会秩序の基軸をなした主従や男女、親子の間における儒教的な上下関係を不合理とし、男女同権論を展開しているのは興味深い。このような明治初期の文明開化・啓蒙主義の流れのなか、1885（明治18）年、日本初の本格的な女性雑誌として、女性の地位向上と権利の伸張、幸福増進のための学問を紹介する『1』が刊行され、内容は政治・社会評論から文学に及んだ。

明治末になると、平塚らいてうら日本女子大学の卒業生中心に『青鞥』が創刊されて世間の大きな注目を浴び、封建的な古い因習から解放され自立的な人生を選ぼうとする行動をさす「2」という言葉も生まれた。その数年後、第一次世界大戦にともなう好景気が訪れると、都市部の発展にともない、急成長した会社の事務員やタイピスト、通信・運輸分野の拡充による電話交換手、乗合自動車の車掌（バスガール）などが急増し、新たに社会進出した女性に対する「3」という呼び名が普及した。その背景には、人手不足のほかに、男性に比して低賃金で雇用できる構造もあった。また、参政権の拡大は大正デモクラシー以降に順次すすんだものの、いくども議論のあった婦人公民法案は国会を通過して成立することはなく、女性の参政権獲得は戦後をまたなければならなかった。

問1 下線部 a に関連してアイヌをめぐる記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 明治政府は、蝦夷地を北海道と改称し、その開発・経営のために開拓使を置いた。
- イ 明治政府は、入植する和人の開拓進展のために、アイヌを同化させようとする基本方針であった。
- ウ 北海道旧土人保護法は、和人による生活圏侵害で窮乏化したアイヌの権利回復に大きな効果があった。
- エ 大正期のアイヌ歌人である遠星北斗は、アイヌの地位向上を求めて社会活動を展開した。
- オ 北海道旧土人保護法に代わって、アイヌの文化振興と知識普及を目的にアイヌ文化振興法が成立した。

問2 下線部 b に関連して近現代の女性活動についての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 女性民権家景山英子は、旧自由党員らが独立党支援で朝鮮に渡航しようとした大阪事件で逮捕された。
- イ 市川房枝は婦人解放運動に活躍し、戦後発足した労働省婦人少年局の初代局長となった。
- ウ オリンピックのアムステルダム大会では、人見絹枝が日本女子選手初のメダリストになった。
- エ 戦後に女性の参政権が認められてから初の選挙では、40人近くの女性が衆議院議員に当選した。
- オ 男女雇用機会均等法により、雇用・配置・昇進に関する男女差別の禁止が義務づけられた。

問3 下線部 c となる国際機構において常任理事となった国として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア イギリス イ 日本 ウ ドイツ エ アメリカ オ フランス カ イタリア

問4 下線部 d に関連して、大正期の女性運動団体 I～III を、結成順に古いものから並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

I 婦人参政権獲得期成同盟会

II 赤瀾会

III 新婦人協会

ア I→II→III イ I→III→II ウ II→I→III

エ II→III→I オ III→I→II カ III→II→I

問5 下線部 e に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 津田梅子はアメリカから帰国後、女子の教育および教員養成に尽力した。

イ 津田梅子の設立した女子英学塾は、やがて津田塾と改名し、大学令により私立大学に認可された。

ウ 山川捨松は、帰国後に大山巖と結婚し、堪能な語学力を活かし鹿鳴館の女王と呼ばれた。

エ 山川捨松は、戦時衛生を担った日本赤十字社などの活動に貢献した。

オ その中には、フランスにとどまり、帰国後に自由民権を説いた中江兆民がいた。

問6 下線部 f に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 前島密が鉛製活字の量産に成功して活版印刷が始まり、書籍や新聞の発行がさかんになった。

イ 軍人勅諭を起草した西周は、国家主義思想の立場から『人権新説』を著した。

ウ 太陰太陽暦に代わって太陽暦が採用され、生活のなかには一か月ほどずれた旧暦行事が残った。

エ 散髪脱刀令により鬘を結うこと、刀を差すこと、さらに別法で入れ墨や男女混浴が禁止された。

オ 新橋・横浜間にレールの上を走る鉄道馬車が開通し、電車の敷設まで活躍した。

問7 空欄 1 に該当する雑誌名として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 明星 イ 婦人運動 ウ 風俗画報 エ 婦人公論 オ 女学雑誌

問8 空欄 2・3 に該当する語の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 2 新しい女・3 職業婦人 イ 2 新しい女・3 俸給生活者

ウ 2 主婦連合・3 女工 エ 2 主婦連合・3 職業婦人

オ 2 ウーマンリブ・3 俸給生活者 カ 2 ウーマンリブ・3 女工

問9 下線部 g に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 中等・高等教育の卒業生拡大に加え諸産業・商業が発達するなか、都市中間層が増えた。

イ 都市郊外の私鉄の発展を背景に、女性だけの劇団として宝塚歌劇団が誕生した。

ウ 杉本京太が発明した和文タイプライターの難しい操作に習熟した女性が活躍した。

エ 東京駅前の同潤会ビルなど、鉄筋コンクリート製のアメリカ型オフィスビルが造られた。

オ 昭和に入ると、東京や大阪などの大都市に、新たな交通手段として地下鉄が開通した。

問10 下線部 h に関して、衆議院議員選挙法の公布または改正時期ごとの首相名・有権者の資格となる直接国税の額・有権者の総人口比の組み合わせとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 黒田清隆・15円以上・1.1% イ 西園寺公望・10円以上・2.2%

ウ 原敬・3円以上・5.5% エ 加藤高明・制限なし・20.8%

オ 幣原喜重郎・制限なし・50.4%

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

日本列島の歴史において、子どものことを語る資料はあまり多くないが、縄文時代の呪術・宗教や風習を示す土偶や抜歯などには、その背景に子どもの存在をうかがわせるものがある。古代になると、律令国家において作成された戸籍には子どもも記載された。史料Aは、筑前国嶋郡川辺里の702（大宝2）年の戸籍である。

史料A 筑前国嶋郡川辺里 大宝二年籍
 戸主ト部乃母曾 年四拾九歳 正丁 課戸
 母葛野部伊志売 年七拾四歳 著女（注1）
 妻ト部甫西豆売 年四拾七歳 丁妻
 男ト部久漏麻呂 年拾九歳 少丁
 男ト部和智志 年六歳 小子 嫡弟
 女ト部智吾良売 年拾六歳 小女
 （中略）
 男ト部赤猪 年拾六歳 小子
 男ト部乎許自 年二歳 緑児 上件二口 嫡弟
 （以下略）
 （注1）老女のこと。

中世の武士にとって、子どもへの家督相続は重要な問題であった。史料Bは、1に定められた、実子の無い女主人が養子を取り所領を譲ってもよいとした条文である。

史料B 一、女人養子の事
 右、法意の如くば（注2）これを許さずと雖も、大将家御時以来当世に至るまで、其の子無きの女人等、所領を養子に譲り与ふる事、不易の法（注3）勝計すべからず（注4）。
 （注2）律令に従っての意。 （注3）後世に変わらぬ法のこと。 （注4）教え切れないの意。

近世には、各藩が藩士や子弟の教育のために藩校を設立し、また、藩の援助を受けて藩士や庶民の教育のために郷校がつくられることもあった。民間においても武士・学者・町人による私塾が開かれ、庶民の子どものためには村役人・僧侶・神職・富裕な町人などによって寺子屋がつくられた。こうして教育の対象としての子どもという考え方が広がっていったのである。

近代に入ると、「子どもの教育」の確立が国家の急務と考えられるようになった一方で、私学による新教育への取り組みも興り、独自の学風が創設された。民間による教育への関わりは、おもに高等教育を事例として東京専門学校、慶応義塾、同志社英学校などがとりあげられることが多いが、ここでは初等教育にも注目してみよう。たとえば京都では、1867（慶応3）年に建白された西谷淇水の史料Cに見られるように、江戸時代の寺子屋普及の連続性のうえに、子どもたちの公立初等教育機関の必要性が説かれていた。このような背景のなか、学制發布に先んじた1869（明治2）年から、京都では「町組」を設立単位とする「番組小学校」が次々と誕生していたことは、あまり知られていない。

史料C 人幼時ニシテ不学時ハ、生涯身ヲ全クシ、家事ヲ脩ムルコト不能、然ルニ、此皇都ノ地、男女ノ幼童ヲシテ素読、手跡、算数（注5）兼帯ノ勤学教導所アラズ。夫童子ノ務トシテ第一ニ学ブベキハ、諸民共ニ、先ヅ手跡ヲ門戸トシ、算勘之ニ次グ（中略）父母タル者ハ甘害（注6）ヲ去リ、師ハ嚴カニシテ、子弟ヲ導キタキ者也。此故ニ今般応所アリ広大無偏ノ法制ヲ以市中ノ場所ヲ撰ビ給ヒ、教学所ノ教育ヲ御世話有テ（後略）
 「教学所設立勸奨」
 （注5）いわゆる「読み、書き、そろばん」のこと。 （注6）親が子どもを甘やかしてしまうこと。

しかしながら、国民哲学の実現までの道のりは平坦なものではなかった。番組小学校の設立にあたっては、その経済的負担から「種々難渋申立断り出タル町モアリ」で、京都府が費用を半分負担し、残りを無利子で貸し出すことで実現にこぎつけている。1886（明治19）年の小学校令により初等教育は義務化されたが、その後も就学率は伸び悩み、授業料が廃止される1900（明治33）年に近づくまで、男子で6～8割、女子で3～5割ほどであった。史料Dは、そのころの就学状況を、よく伝えている。

史料D 社会の富の分配は偏重であり、貧しい親には、いつ迄も出来ぬことが多いのではないか。（中略）「勉学すれば誰でも豪い者になれる」「学校に通へば優れた者になれる」かうとく教師の説は答むべきでないだらうが、そうさせ得ざる貧家の事情は如何にせむやだ。（中略）嬉しさに2へ通ふのに、何故自分だけはかうした悲

しい工場に来ねばならぬのか。(中略)友は皆豪くなる出世をする。俺は嘲^{あざ}けられつ苦^{はねど}しい骨折をして、余り佳^いい生活が出来ぬ職人となるのか。あゝ工場を止めたい。学校へ行きたい。

【労働及産業】

これは、石川島にある造船所の少年工となり、後に友愛会の活動家となった福田龍雄が、就職した1903(明治36)年当時を回顧した文章で、進学できず、職工として働かざるを得なかったことからくる悲哀の意識が濃厚に表れている。加えて、当時の工場は肉体的にも厳しい労働環境であり、就職した少年工は半年から数年で辞めることが多かったという。ここには、現代と違ったかたちではあるが、子どもの貧困と教育の相関性を見てとることができる。

問1 下線部 a に関連して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア アニミズムは、あらゆる自然物や自然現象に精霊が宿るとした宗教である。
- イ 男性の生殖器を表現したと思われる石棒は、呪術・宗教に関わる道具とされる。
- ウ 土偶の中で女性をかたどったものは少ないが、多産豊饒の観念を示すとされる。
- エ 伸展葬は手足を伸ばして葬る葬法であり、地域の首長の墓に用いられたとされる。
- オ 屈葬は体を折り曲げて葬る葬法であり、死者の霊の災いを恐れたものとされる。
- カ 抜歯は大人の健康な歯を抜く風習であり、成年式などの際に行われたとされる。

問2 史料 A に関連して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 戸籍は6年ごとに作成され、計帳は毎年作成された。
- イ 計帳は租・調・庸・雑徭を取り立てる台帳であった。
- ウ 2歳の緑児には口分田が班給されなかった。
- エ 6歳の小子には口分田が班給され、租が課せられた。
- オ 19歳の少丁には正丁の2分の1の調・雑徭が課せられた。
- カ 47歳の丁妻には1段120歩の口分田が与えられた。

問3 空欄 1 に該当する名称と下線部 b に該当する人名の組み合わせとして、正しいものはどれか。1つ選べ。

- ア 1 御成敗式目・b 源頼朝 イ 1 御成敗式目・b 北条泰時
- ウ 1 建武式目・b 後醍醐天皇 エ 1 建武式目・b 足利尊氏
- オ 1 建武以来追加・b 足利直義 カ 1 建武以来追加・b 足利義満

問4 下線部 c に該当しないものはどれか、1つ選べ。もしすべて該当する場合は、力をマークせよ。

- ア 洗心洞 イ 古義堂 ウ 護国塾 エ 鈴屋 オ 芝蘭堂

問5 下線部 d に関連して、のちに大学令で私立大学として認可されるこれらの私立学校 I～III を、設立時期の古い順から並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- I 東京専門学校
- II 慶応義塾
- III 同志社英学校
- ア I→II→III イ I→III→II ウ II→I→III
- エ II→III→I オ III→I→II カ III→II→I

問6 下線部 e に関連し、近代日本の子どもと教育・世相についての記述として正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 滝廉太郎らの尽力で小学校教育に音楽が採用され、西洋の楽調による唱歌教育が始まった。
- イ 初等・中等教育における体操科目としておかれた修身科は、忠君愛国の肉体・精神の育成をめざした。
- ウ 明治の中頃から、紙メンコを打ち付けて、相手のメンコをひっくり返し勝敗を決める遊びが流行した。
- エ 子どもの感情豊かな表現を重んじ、先駆けて児童自由詩を評価した『少年倶楽部』が創刊された。
- オ 大正期には、自由学園の創設者鈴木三重吉により、子どもの個性・自発性を尊重する教育が広まった。

問7 空欄 2 に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 尋常小学校 イ 中学校 ウ 高等学校 エ 専門学校 オ 大学

問8 下線部 f に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 江戸時代の石川島には、長谷川平蔵により、軽罪の無宿者を収容する更生教育施設がおかれた。
- イ この造船所は、幕命により水戸藩が江戸湾内に建設したことに始まる。
- ウ この造船所は、官営造船所となったが、のちに三菱へと払い下げられた。
- エ 河口の石川島から隅田川を数キロ遡った深川には、官営のセメント製造所が設立された。
- オ 江戸湾の埋め立ては近代になっても進み、石川島周辺は関東大震災のがれきで埋め立てられた。

(以下余白)